

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～ 少年教育推進目標～

## 湧別町・新篠津村友好都市交流事業が3年ぶりに行われました。

8月2日から4日までの2泊3日の日程で、湧別町・新篠津村友好都市交流事業が五鹿山公園キャンプ場にて行われました。

この交流事業は、平成15年度に新篠津村と友好都市を提携したのをきっかけに、平成17年度から両町村の小学生が1年ごとにお互いのまちを訪れ親睦と友好を深めている取り組みです。

今回は新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催であり、湧別町を舞台に両町村の小学生13名に加え指導ボランティアとして両町村の中学生・高校生7名が参加しました。

参加した子どもたちは仲間づくりゲームを通してすぐに打ち解け、ふるさと館JRYでの郷土学習や漁協青年部の指導によるホタテ剥き体験を実施。

2日目には町内ボランティアによる湧別町の食材を活かした昼食を提供していただきました。夜には定番の「きもだめし」「キャンプファイヤー」を実施。楽しい夏休みの思い出を作りました。



## 「昔の遊びを教えてもらったよ!」～湧ゆう湧くわく体験塾が「昔遊び」体験を行いました～

8月6日、文化センターさぎ波を会場にチューリップ生きがい大学から7名の講師を招いて、おはじき、あやとり、折り紙、めんこ、お手玉、けん玉、竹とんぼといった昔の遊びを体験しました。

この日参加したのは塾生14名と4家族11名の計25名。初めて触れるめんこや竹とんぼなどに戸惑いながらも、講師の指導でだんだんコツをつかみ、うまくできると歓声が上がっていました。また、講師の皆さんも子どもの頃を思い出しながら、お孫さん年齢の子ども達と楽しく交流していました。

参加した塾生からは「昔の遊びができて面白かった。またやってみよう。」などの感想が聞かれました。新型コロナや熱中症にも気を付けながら行った今回の昔遊び体験は子どもたちと高齢者とのよい異世代交流ともなりました。





## 第1回子ども会リーダー研修会が2年ぶりに行われました!

7月28日から29日に第1回子ども会リーダー研修会が五鹿山公園キャンプ場にて2年ぶりに開催されました。この体験学習は、集団生活をする上での約束や決まりを守ることや、お互いに協力しあって活動する大切さを理解し、実践することなどを目的として開催しています。

2日間の研修では中高生リーダークラブCAPTAIN★TEENS(キャプテンティーンズ)が、感染症対策に気を配りながら会議を重ねて企画した演習が行われ、参加した町内の小学5~6年生9名は楽しく研修会に参加していました。

夕食はお好み焼きや焼きそば、朝食は牛乳パックを燃やして調理する「カートンドッグ(ホットドッグ)」を実施。どれも格別な味わいでした。



成人は町の大黒柱 すすんで地域に関わろう ~成人教育推進目標~

## 湧別町民大学を開催中です!~ 2回目は10月6日(木)、3回目は10月26日(水)~

生涯学習講座「湧別町民大学」第2回目は藪中三十二さんを、第3回目は北川聡子さんをお迎えします。ご家族、お友だち同士で、また職場のお仲間などお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

【会場】文化センターTOM 【時間】各回とも午後7時開講(開場午後6時)

【受講料】共通受講1,000円 | 1回受講500円

【申込み】町民大学実行委員会事務局(社会教育課内 TEL01586-5-3132)

※事前申し込みが必要です。



(湧別町公式HP内サイト)



### 第2回 10月6日(木)

「最新の国際情勢と日本の選択  
~ウクライナ問題を  
中心として~」

立命館大学客員教授/グローバル寺子屋塾長

やぶなか

みとし

**藪中 三十二 氏**



### 第3回 10月26日(水)

「子育ての村ができた!  
~子育ての困りごとを  
解決するために~」

社会福祉法人麦の子会理事長・総合施設長/公認心理師

きた がわ さと こ

**北川 聡子 氏**

明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

## 晴天の中、ランニング教室が開催されました！

8月13日に、午前は文化センターTOMで、午後は上湧別百年記念公園運動広場でランニング教室が3年ぶりに開催されました。

この教室は走り方の基本や技術を学び、運動能力の向上や怪我を予防するために教育委員会が主催しているもので、「作. AC 北海道」から作田徹代表(札幌市在住)が講師を務め、同チームのメンバー5名によるサポートのもと、小学生から大人までの町民42名が参加しました。

中学生以上の参加者はマラソンを走る際のコツ・夏の練習対策を学びました。30分講義では心拍と筋力のバランスや練習大会で使用する靴について学ぶことができました。

その後、屋外にて町内 10km のペース走を行い、参加者のみなさんは爽やかな汗を流していました。

午後から行われた小学生の部では、速く走るコツを学び、正しい歩き方の姿勢や、スキップ、ももあげなど速く走るための体づくりを中心に行い、最後には、5チームに分かれてリレーで競争しました。

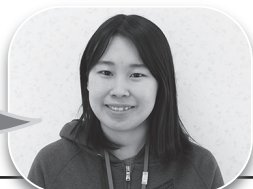
晴天にも恵まれ、参加した小学生は、笑顔で練習を楽しんでいました。

ちよいトレ☆教室! ～No.40～運動指導職員 三浦 茉敵<sup>まほ</sup>

## ◎ちよいトレ ■「4」の字ストレッチ

1. 仰向けに寝て両ひざを立てる。
2. 右脚を左ももの上に置き、足で「4」の字をつくる。
3. 「4」の字のまま脚を上げ、右手を両脚の間に通して左のもも裏に回し、左手と組む。息を吐きながら、脚を胸に近づける。(目安は20秒から30秒)

お尻を伸ばして、下半身の血流をアップさせましょう!





芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう ～芸術・文化活動の推進目標～

## 「こどもアート体験事業」の物語完成発表会

8月4日に「こどもアート体験事業」の物語完成発表会が開催されました。この事業は講談師の神田山陽さんとの文通のやりとり

や、ワークショップを通じて「自分だけの桃太郎のサイドストーリー」を制作するもので、6月から約2か月間かけて完成しました。

参加した4名の物語はそれぞれ個性的なものばかりで、この事業を通して言葉を文字にすること、創造することの楽しさを学ぶ貴重な体験となりました。



子どもは町の宝 手を取り合い支え合って育てよう ～家庭教育推進目標～

## 第6回【家庭教育コーナー】

町内の学校ではまもなく前期が終了して秋休み（学期間休業）に入りますね。学期末になると担任の先生から渡される通知表。成績を見て一喜一憂する姿は昔も今も変わらないのかなと思いますが、この「通知表」とは、いったいどんなものなのでしょうか。また、親は通知表をどう見ればいいのでしょうか。

通知表は法令によって発行が義務付けられているものではありません。そのため、形式や内容、呼び名も学校によって異なっています。今では、ほとんどの学校が出席の状況や学習状況、学校生活の様子などを保護者に連絡するために発行しています。

### ◎学習状況（成績）の見方

「A・B・C」や「1・2・3・4・5」などで表されます。昔は集団内での人数割合が決まっている「相対評価」でした。1と5は7%、2と4は24%、3は38%を基準としていましたので、「その集団の中での順番」に近いものでした。ですから、集団全体の成績がよければ、よい成績をとっても成績は変わらないということもあったのです。

今は一人一人の「目標に対する到達度」を評価しています。そのため、各学校では観点別に評価規準（目標）を作成し、通知表でもその観点を示しています。ですから、本人が頑張るとても成績を取れば、それに応じて成績も上がるようになりました。

### ◎生活の様子（総合所見）の見方

全教育活動を通して見られた児童生徒の特徴や集団生活の様子、活動の成果や課題などを文章で記載しています。内容は、他者との比較ではなく、個々の優れているところや進歩したことを積極的に評価（個人内評価）し、個人のよいところをさらによくしていこうとする評価（肯定的評価）＝「よさを認める評価」が中心です。

通知表には、先生方がみんなで見取った子どもの努力や成長の様子が詰まっています。普段は気づかないわが子の「よさ」を教えてくれる貴重なツールとして通知表を活用することができると思いますね。

◇子育てに関する保護者の疑問や悩みに答える家庭教育相談を行っています。下記の連絡先でお待ちしています。また、参加者が気軽に子育てについて交流できる場の開設などを検討中です。関心のある方はお問い合わせください。

【アドレス】 [adviser@town.yubetsu.lg.jp](mailto:adviser@town.yubetsu.lg.jp)  
【電話番号】 5-3132（社会教育課）





図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

## 今月の読書・本についての 名言・格言

世界の偉人や有名人たちは、本にまつわるステキな言葉をたくさん残しています。毎月その中から、読書のきっかけになれるように紹介していきます。

今月は、**手塚治虫**（漫画家、医学博士）

「君たち、漫画から漫画の勉強するのはやめなさい。

一流の映画をみろ、一流の音楽を聞け、一流の芝居を見ろ、一流の本を読め。そして、それから自分の世界を作れ。」



「小説火の鳥」朝日新聞出版

## 「ハローエッセイ」図書館協議会委員さんのある一日」第142回

図書館協議会委員を拝命しております。

図書館には、かけがえのない思い出があります。学生時代、図書館に通い、分野を問わず本を読みました。色々な言葉に出会い、生きるということを求めていたのかもしれない。言葉と真向いになりながら、言葉にまでなって私に伝えようとする心に触れていたように思います。言葉を大事に生きることが人生を大事に生きることだということを教えられた日々でした。

現在、インターネットの普及で、巷に情報が、言葉が溢れています。目の前を言葉が流れ、通り過ぎていく。言葉の海に漂い、自分が見失われていくような気がします。

図書館は、言葉と向き合える、言葉の大切さを学ぶことのできる場所です。本当に生きた言葉に出会うことが、人生を一段と豊かにすることにつながると思います。

時間に追われる毎日、図書館という言葉の響きが、「大切なことを忘れていないか」と私を呼び止めます。

図書館協議会委員 菊地 得典

## 10月の図書館休館日

10月3日(月曜日)、10日(月曜日)、17日(月曜日)、24日(月曜日)、31日(月曜日)

【開館時間】 10:00～18:00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150  
lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】 2週間

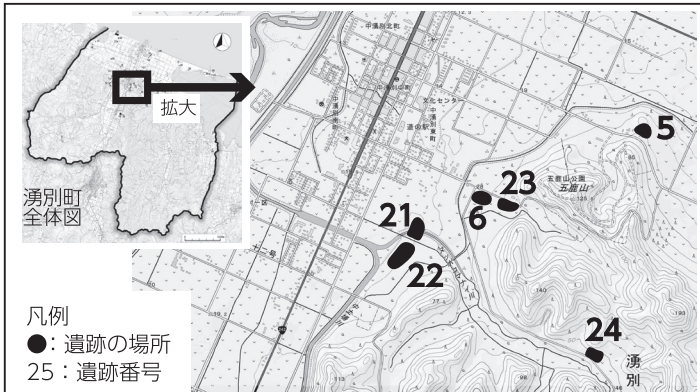
湧別図書館 電話 5-3122  
lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化財シリーズ61  
町内の遺跡10

## 身近な場所に遺跡!? 【北兵村一区・二区】

博物館だより  
一ふるさと館 JRY・郷土館一  
【第152号】

遺跡は、みなさんのお宅や普段利用する道路の近くなど意外と身近なところにあるものです。今回は、湧別町にある57か所の遺跡から北兵村一区と二区にある遺跡をご紹介します。



凡例  
●：遺跡の場所  
25：遺跡番号

遺跡番号	遺跡名	主な所在地	年代
5	五鹿山遺跡	北兵村二区319	縄文文化
6	ヌッポコマナイ遺跡	北兵村一区219	縄文文化
21	五の一遺跡	北兵村一区269-1, 270	縄文～擦文文化
22	五の二遺跡	北兵村一区179	不明
23	ヌッポコマナイ2遺跡	北兵村二区300ほか	不明
24	五の二遺跡	北兵村二区368ほか	不明

北兵村一区と二区には遺跡が6か所あります(左図)。中土場川やヌッポコマナイ川の河岸段丘上でまとまって確認されています。

ヌッポコマナイ遺跡(左図6)は、北筒式土器(ほくとうしきどぎ)と呼ばれる土器が見つかった縄文時代中期(約5,000～4,000年前)の遺跡です。五の一遺跡(左図21)は昭和54～55年に発掘調査が行なわれ、様々な年代の資料が出土しています。土器は縄文、続縄文、擦文文化、鉄器はアイヌ文化の鉄鍋が見つかっています。住居や墓は見つからなかったため、この遺跡は居住区域ではなく一時的に作業などを行った場所だと考えられます。五鹿山遺跡(左図5)は縄文文化の遺跡です。

残る3つの遺跡は出土した土器などが確認できていないため、年代など詳しいことはわかっていません。

\*遺跡の位置・内容の詳細は、北海道教育委員会ホームページ「北の遺跡案内」でも確認できます。

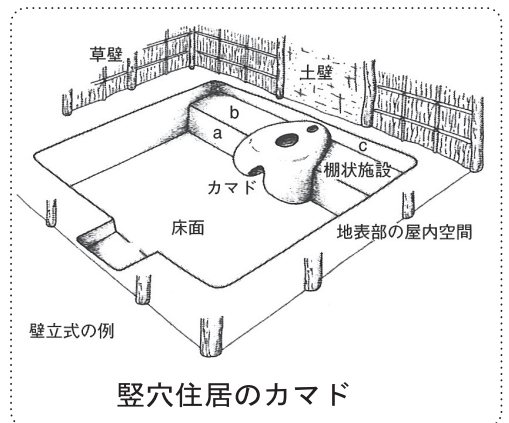
### 発掘調査で わかること

### 竪穴住居のはなし(カマド)

竪穴住居は縄文から擦文文化まで(約13,000～800年前)長い間使われましたが、煮炊きをする場としてカマドが備え付けられたのは擦文文化の頃だけでした。カマドは本州では古墳時代(約1,800～1,400年前)から使用され、その影響を受けて北海道でもカマドが広まりました。

カマドは石材を骨格にして粘土で成形しているため、発掘調査で確認されやすい設備です。カマドを確認できると、煮炊きに使用した土器や調理の残り物などが一緒に見つかることもあり、当時の人々が何を食べていたのかを知ることができます。

湧別町の発掘調査では2年連続でカマドが確認できているため、今後、当時の食文化や生業の解明が期待されます。



壁立式の例

竪穴住居のカマド

出典『発掘調査のてびき』2010 文化庁

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2022年9月号 No.152

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1  
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…北湧印刷(湧別町緑町)発行…令和4年9月26日

記事へのお問い合わせは下記へ

\*社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710  
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

\*湧別図書館…電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

\*中湧別図書館…電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

\*ふるさと館 JRY…電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200

※湧く湧くで紹介する事業の予定は、今後の社会情勢によっては、中止や延期となる場合もあります。ご了承ください。